



(題字 時澤 貢 学長)

第397号
(平成10年 1月号)



▲ キャンパスと立山連峰

目 次

年 頭 所 感

(時澤 貢学長).....	3
関 係 法 令	4
学 内 規 則	4
諸 会 議	5
学 事	
◆平成9年度民間等との共同研究の受入れ状況 (平成9年10月～10年3月).....	6
◆平成10年度大学入試センター試験を実施	7
人 事 異 動	8
学 内 諸 報	
◆就職に関する講演会を開催	8
◆第29回寒中水泳.....	9
◆海外渡航者	10

職 員 消 息

◆住所変更	11
主 要 行 事	11



▲ 大学入試センター試験：第1日目好天に恵まれ試験場へ向かう受験生

年 頭 所 感

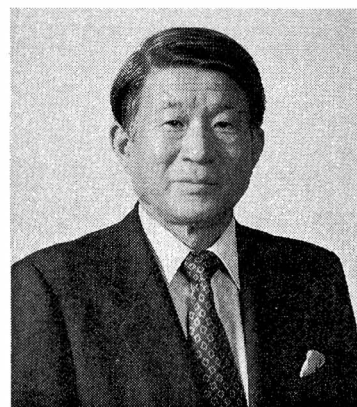
年 頭 の あ い さ つ

富山大学長 時 澤 貢

新しい年、1998-JAN-平成10年を迎えました。おめでとうございます。皆様よいお年を迎えられたことと思います。

今年は、本学にとって明るい話題があります。今春、本学の念願でありました既設の大学院工学研究科博士課程を拡大充実させた「理工学研究科博士課程」の設置、外国人留学生、外国人研究者の生活支援をする「国際交流会館」等の設置の概算要求が認められたことであります。また、地域に開かれた大学として、教官の研究成果の公表や地域貢献、社会参加等社会への情報発信の話題も多く関係各位に敬意を表します。

さて、21世紀の幕開けまで残すところ3年、本学も来年50周年の節目を迎えます。新世紀に向けた国立大学の現状を直視するならば、次世代の繁栄の礎を築くべく教育改革を進め、優れた人材の養成、未来を拓く知の創造に努めていくことが不可欠であり、内外から期待されています。



「知の時代」と呼ばれるように、互いに知恵を出し合い、プラス指向で、夢が現実のものとなるよう皆様の御努力と御協力をお願いするものであります。今年は、質の向上とともに、「面白く」、「楽しく」、「美しい」大学を目指し、教育研究の環境づくりに取り組み、本学の未来創造の年となるよう努めてまいりたいと思います。教職員の皆様全員が健勝であることを祈念して、年頭の挨拶といたします。



関 係 法 令

(法 律)

○平成10年分所得税の特別減税のための臨時措置法(1)
(平10. 1. 30 官報号外特第1号)

○地方税法及び地方財政法の一部を改正する法律(2)
(同上)

(政 令)

○平成10年分所得税の特別減税のための臨時措置法施行令(19)(平10. 1. 30 官報号外特第1号)

(省 令)

○平成10年分所得税の特別減税のための臨時措置法施行規則(大蔵2)(平10. 1. 30 官報号外特第1号)

○地方税法施行規則の一部を改正する省令(自治2)
(同上)

(規 則)

○人事院規則15-14(職員の勤務時間, 休日及び休暇)

の一部を改正する人事院規則(人事院15-14-5)
(平10. 1. 16 官報第2300号)

○人事院規則15-15(非常勤職員の勤務時間及び休暇)
の一部を改正する人事院規則(同15-15-1)(平10.
1. 26 官報第2306号)

○1998年パラリンピック冬季競技大会の運営の業務に従事する職員の職務に専念する義務の免除(同14-16)
(平10. 1. 30 官報第2310号)

(告 示)

○出入国管理及び難民認定法第7条第1項第2号の基準を定める省令の留学及び就学の在留資格に係る基準の規定に基づき日本語教育施設等を定める件の一部を改正する件(法務5)(平10. 1. 9 官報第2296号)

学 内 規 則

富山大学における技術専門官及び技術専門職員に関する規則の制定

富山大学における技術専門官及び技術専門職員に関する規則の制定理由

国立大学, 国立短期大学及び国立高等専門学校技術専門官及び技術専門職員に関する訓令(平成9年文部省訓令第33号)が制定されたことに伴い, 本学に技術専門官及び技術専門職員を置き, 教育研究支援体制の強化並びに教室系技術職員の処遇の改善を図るため, 所要事項を定める。

富山大学における技術専門官及び技術専門職員に関する規則を次のとおり制定する。

平成10年1月14日

富山大学長 時 澤 貢

富山大学における技術専門官及び技術専門職員に関する規則

第1条 富山大学に, 国立大学, 国立短期大学及び国立高等専門学校の技術専門官及び技術専門職員に関する訓令(平成9年文部省訓令第33号)に定めるところに

より, 技術専門官及び技術専門職員を置く。

第2条 技術専門官は, 極めて高度の専門的な技術を有し, その技術に基づき, 教育研究の支援のための技術開発及び技術業務並びに学生の技術指導を行うとともに, 技術の継承及び保存並びに技術研修に関する企画及び連絡調整を行う。

第3条 技術専門職員は、高度の専門的な技術を有し、その技術に基づき、教育研究の支援のための技術開発及び技術業務並びに学生の技術指導を行うとともに、技術の継承及び保存並びに技術研修に関する調査研究を行う。

第4条 この規則の実施に関し必要な事項は別に定める。

附 則

この規則は、平成10年4月1日から施行する。

富山大学における技術専門官及び技術専門職員の選考基準の制定

富山大学における技術専門官及び技術専門職員の選考基準の制定理由

富山大学における技術専門官及び技術専門職員に関する規則第4条に基づき、技術専門官及び技術専門職員の選考に関し、必要な事項を定める。

富山大学における技術専門官及び技術専門職員の選考基準を次のとおり制定する。

平成10年1月14日

富山大学長 時 澤 貢

富山大学における技術専門官及び技術専門職員の選考基準

第1条 この基準は、富山大学における技術専門官及び技術専門職員に関する規則第4条に基づき、技術専門官及び技術専門職員の選考に関し、必要な事項を定めるものとする。

第2条 技術専門官は、次の各号の一に該当する者のうちから事務局長が選考する。

- (1) 職務に関連する技術系の国家資格試験（大卒程度以上）に合格した者
- (2) 特許取得等の独創的な技術開発を行った者
- (3) 学会賞等を受賞した者
- (4) 科学研究費補助金等の公募採択型の各種助成金を受けた者
- (5) 修士以上の学位を有する者
- (6) 学会等において職務に関連する論文発表等を行っ

た者

(7) 職務に関連する著作を発表した者

(8) 技術職員研修会等において講師の経験を有する者

第3条 技術専門職員は、次の各号の一に該当する者のうちから事務局長が選考する。

- (1) 前条各号の一に該当する者
- (2) 職務に関連する技術系の国家資格試験に合格した者（前条第1号に該当する者を除く）
- (3) 技術発表会等において職務に関連する技術発表等を行った者
- (4) 技術職員研修会等の研修を修了した者

第4条 技術専門官及び技術専門職員の選考に関する事務は、庶務部人事課が行う。

附 則

この基準は、平成10年4月1日から施行する。



第4回開学50周年記念事業委員会（1月7日）

（審議事項）

- (1) 開学50周年記念事業について

(2) その他

第4回総合情報処理センター運営委員会（1月9日）

(審議事項)

- (1) 次期センター長選考日程について
- (2) その他

第9回部局長懇談会(1月16日)

(議 題)

- (1) 当面の諸問題について
- (2) その他

第2回国際交流委員会(1月16日)

(審議事項)

- (1) ロシア連邦モスクワ物理工科大学との大学間交流協定の締結について
- (2) 留学生国際シンポジウムについて
- (3) その他

第12回評議会(1月16日)

(審議事項)

- (1) 富山大学教員倫理規則の制定について
- (2) ロシア連邦モスクワ物理工科大学との大学間交流協定の締結について
- (3) その他

富山県リカレント教育推進事業富山大学運営委員会

(1月16日)

(議 題)

- (1) 平成10年度富山県リカレント教育推進協議会委託の学習コースについて
- (2) その他

第7回学生生活協議会(1月20日)

(審議事項)

- (1) 平成10年度入学生行事日程(案)について
- (2) 平成10年度入学合格者へのダイレクトメール送付にかかる学生団体からの要求について
- (3) その他

第8回事務協議会(1月20日)

(議 題)

当面の諸課題について

第4回入学試験実施委員会(1月23日)

(審議事項)

- (1) 入学試験実施委員会専門委員会委員について
- (2) 平成10年度富山大学入学者選抜学力検査実施要項及び整理細目について

第5回学寮委員会(1月27日)

(審議事項)

- (1) 寮生からの要求について
- (2) その他



平成9年度 民間等との共同研究受入れ一覧

平成9年10月～10年3月

区分	研 究 題 目	民間機関名	大学側研究代表者
B	高分子被覆アルミ材料表面に対するエアロゾルの吸・脱着挙動の解析	三協アルミニウム工業株式会社	工 学 部 教 授 北野 博巳
々	細胞成長因子の生理活性に関する研究	株式会社北陸化成工業所	工 学 部 教 授 佐々木和男
々	断熱鋳型による連続鋳造法の研究	富山合金株式会社	工 学 部 教 授 池野 進
々	押し出し材の二次成形加工に関する研究	Y K K 株 式 会 社	地域共同研究センター 助教授 高辻 則夫
々	メッキおよびコーティング層の新評価法開発に関する基礎的研究	株式会社高松メッキ	工 学 部 教 授 能登谷久公
々	押出材の変形が発生しない工具設計に関する研究	住友軽金属工業株式会社研究開発センター	地域共同研究センター 助教授 高辻 則夫
々	トリチウム制動X線測定装置の開発	日本ガイシ株式会社金属事業部	水素同位体機能研究センター 教 授 渡邊 国昭
々	炭素繊維複合素子を用いた床暖房の基礎研究	竹 沢 建 設 株 式 会 社	工 学 部 教 授 竹越 栄俊
々	I T O膜の膜厚とその電気特性の研究	S M K株式会社富山営業所	工 学 部 教 授 森 克徳
々	アミンの検出試薬の研究	南越ケミカル株式会社	工 学 部 助教授 蓮覚寺聖一
々	高濃度トリチウムの取扱技術に関する研究	川崎重工業株式会社原子力本部	水素同位体機能研究センター 教 授 渡邊 国昭

区分	研 究 題 目	民間機関名	大学側研究代表者
B	ポリマー碍子の電気特性・耐候性に関する研究	北陸電力株式会社工務部	工 学 部 教 授 池田 長康
々	室内実験による雷雲の電気構造に関する研究	北陸電力株式会社地域総合研究所	工 学 部 教 授 池田 長康
C	強度、耐力、伸び、加工硬化の違いによる曲げ加工性とそのメカニズム	本多金属工業株式会社	地域共同研究センター 助教授 高辻 則夫

[平成9年度受入総数]区分A：2件，区分B：35件，区分C：1件，計：38件

大学受験の第一関門

平成10年度大学入試センター試験を実施

－ 本学をはじめ4試験場で実施（県内） －

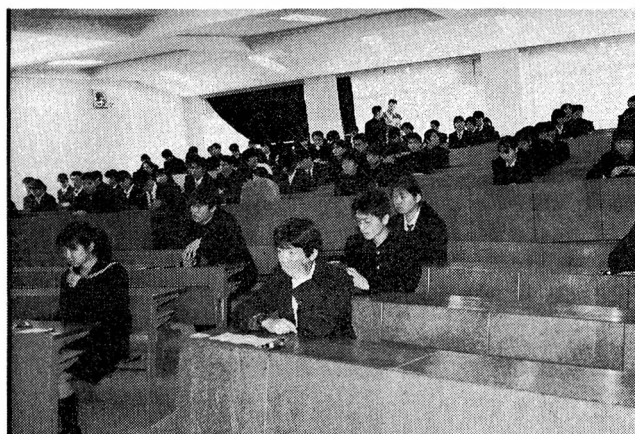
平成10年度大学入試センター試験が去る1月17日（土）、18日（日）の2日間にわたり全国一斉に行われました。共通一次学力試験に代わって9回目となった今回の全国の志願者は、597,271人で昨年より2,691人少なく初めての減少となりました。

富山県内での志願者は、18歳人口の減少傾向等を受け、昨年より173人少ない5,874人となり、試験は本学をはじめ富山医科薬科大学、富山県立大学及び高岡短期大学の

4試験場で実施されました。このうち、本学の志願者は4,204人で、5試験場にわかれて受験しました。

第1日目は好天に恵まれたものの、2日目はあいにくの雨模様となりましたが、2日間にわたる試験は交通機関の遅滞もなく予定どおり実施されました。

なお、本学試験場及び全国の受験状況は次のとおりです。



▲ 緊張した面持ちで試験開始を待つ受験生



▲ 第1日目試験終了後帰路につく受験生

平成10年度大学入試センター試験受験状況

期 日	教 科	富山大学試験場			全 国 集 計		
		志願者数	受験者数	受 験 率	志願者数	受験者数	受 験 率
1月17日 (土)	外国語	4,204人	4,083人	97.12%	597,271人	545,529人	91.3%
	地理歴史	4,204	3,708	88.20	597,271	417,287	69.9
	数学①	4,204	3,682	87.58	597,271	403,722	67.6
	数学②	4,204	3,515	83.61	597,271	357,413	59.8
1月18日 (日)	国 語	4,204	4,025	95.74	597,271	513,920	86.0
	理科①	4,204	3,298	78.45	597,271	323,830	54.2
	理科②	4,204	2,010	47.81	597,271	218,688	36.6
	公 民	4,204	1,949	46.36	597,271	192,416	32.2

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容
採 用	10. 1. 12	東海 香織		事務補佐員（入試課）
	〃	近藤 俊彦		〃 （附属図書館情報サービス課）
	〃	大岸 里美		〃 （ 〃 ）
	〃	尾下 成敏		〃 （ 〃 ）
	〃	安部 公子		〃 （ 〃 ）
	〃	島先 厚至		〃 （ 〃 ）
	〃	大橋 正浩		〃 （ 〃 ）
	〃	高瀬 雅美		〃 （ 〃 ）
	〃	10. 1. 30	柳原 一雄	
任用更新	10. 2. 1	高松 典子	事務補佐員（人文学部・理学部）	任用更新（～10. 2. 6）
臨時的任用	10. 1. 5	高桑 幸子		教 諭（教育学部附属養護学校） （～10. 2. 3）

学 内 諸 報

「就職に関する講演会」を開催

本学学生に対する就職支援活動の一環として、去る1月21日（水）及び28日（水）の両日の午後、黒田講堂会議室及び共通教育棟1番教室において、「就職に関する講演会」が開催されました。

平成9年度からの就職協定の廃止に伴い企業の採用活動が早期化し、また長期化が見られたことから、本学においても従来4月に実施していた一部を1月に繰り上げて開催し、2日間で延べ約450人の学生が参加して、座れない学生もいた会場もあり、就職への関心が高まっていることがうかがわれました。

講演会では、国家公務員や地方公務員・富山県職員採用試験の受験から採用に至るまでの試験・任用制度や職務内容等について、また、教員を目指す学生に対しては、富山県の教員採用に係る需給の状況や心構えなどについて、教育現場の情勢を踏まえての講演が行われました。

一方、就職全般の講演では、企業が求める人間像や今

年の就職戦線の状況、就職活動の進め方等について、さらに、教育学部学生による模擬面接も取り入れて、面接を受ける際のポイント等の説明など、就職に対する十分な心構えが求められました。

引き続き厳しい就職環境を反映して、それぞれの講演とも、参加した学生たちは、就職活動のノウハウを得ようと熱心に聞き入り、終了後も個別質問等があり有意義な講演会となりました。

なお、日程及び講師は次のとおりです。

1月21日（水）黒田講堂会議室

・国家公務員採用Ⅰ種・Ⅱ種試験等の概要について

講師：人事院中部事務局 稲塚祐二試験係長

・教員需給の現状と教職を目指す人に

講師：富山県教育委員会教職員課

結城正斉主幹

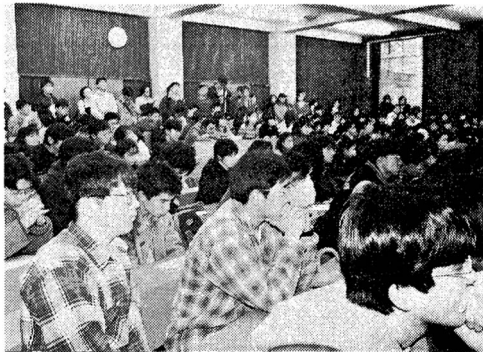
1月28日（水）共通教育棟1番教室

- ・地方公務員・富山県職員採用試験等の概要について

講師：富山県人事委員会 能勢博雄任用課長



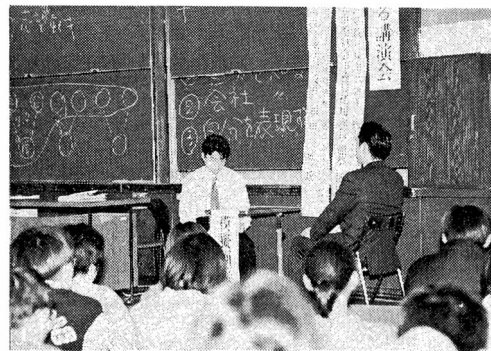
▲ 就職講演会（公務員関係）



▲ 熱心に講演を聴く学生たち

- ・今年度の就職戦線の状況と就職活動の進め方等について

講師：(株)リクルート名古屋支社 相田一成氏



▲ 模擬面接

第29回富山大学寒中水泳

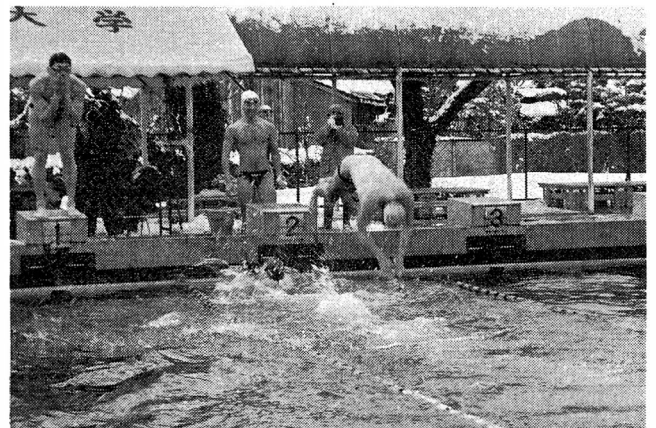
富山大学の名物行事となっている水泳部主催（後援：体育会）の第29回寒中水泳が、去る1月24日（土）雪の降りしきる中、午後2時から本学プールにおいて行われました。

能登谷学生部長の挨拶の後、水泳部主将の檄文読上げに続き、応援団リーダー部、チアリーダー部及び吹奏楽部の応援の中、水泳部員がリレー方式で次々とプールへ飛び込み、プールサイドをうめつくした観衆から熱い声援を受けていました。

その後、ヨット部、合気道部など併せて13サークルの部員が、それぞれ趣向を凝らした格好で泳ぎきり、大会を盛り上げていました。

当日は、今冬一番の寒気団に見舞われ、水温3度と身を切るような寒い一日となりましたが、泳ぎ終えた学生

たちは、準備されたお汁粉や豚汁で冷えた体を温め、お互いに健闘を称え合っていました。



水泳部員のコメント

日本中が大寒波に見舞われこの冬一番の寒さを記録した、去る1月24日(土)、気合と根性のみで富山大学プールに集う多くの若者達がいました。彼らは、なぜそこにいるのでしょうか。それは、まぎれもなく泳ぐためです。今年は、気温0度、水温3度という極寒の吹雪の中恒例の寒中水泳が、鴨が住みついていたプールで行われました。水着に着替えるとその寒さに震え、身の危険をひしひしと感じました。私たちはなぜ泳ぐのか、なぜこのような馬鹿なことをしようとしているのか、そんなことまで考えてしまいました。

しかし、いざ、泳ぐ時になると、気合も最高潮に達し、

その勇気を誇示するかのごとく飛び込むのです。水の中では、「寒い」というより「痛い」に近い感覚が全身を襲い、冷たさに血も身も凍るような思いで、自分の能力のすべてを泳ぐことにおっつけました。すると、その気合で寒さや冷たさに打ち勝つことができるのです。そして、泳ぎ終わると同じ経験をした者同士が、皆互いの勇気と強さを称え合うのです。これこそが、まさに寒中水泳をすることの意義で、雪の中で泳ぐ理由であり、富山大学の名物行事なのです。

最後になりましたが、このように盛大な寒中水泳が行うことができたことは、御協力いただいた多くの方々のおかげです。この場を借りましてお礼申し上げます。

(海) (外) (渡) (航) (者)

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
外国出張	水素同位体機能研究センター	助教授	芦田 完	アメリカ合衆国	「次期核融合装置の高熱流束機器およびプラズマ表面相互作用」ワークショップに出席	9.12.6)) 9.12.13
	教育学部	助教授	木川 栄一	オーストラリア	古地磁気学的手法による核・マン托ルのダイナミクスの研究に関する岩石試料採取及び調査	10.1.4)) 10.1.16
	工学部	教授	西塚 典生	アメリカ合衆国	第7回国際応用磁気及び磁性と磁性材料合同国際会議に出席、研究発表等	10.1.6)) 10.1.10
	〃	助教授	佐藤 雅弘	〃	〃	〃
	人文学部	助教授	佐々木 重洋	連合王国 カメルーン	アフリカにおける民族芸術の文化人類学的研究に関する調査	10.1.7)) 10.2.9
	理学部	助教授	池田 榮雄	中華人民共和国	FIRST PACIFIC RIM CONFERENCE ON MATHEMATICSに出席、研究発表	10.1.18)) 10.1.24
海外研修	理学部	教授	鳴橋 直弘	ニュージーランド オーストラリア	第7回国際キイチゴ属・スグリ属シンポジウムに出席、研究資料収集	10.1.1)) 10.1.21
	工学部	教授	河崎 善司郎	オーストラリア	自然言語処理関係国際会議等に出席	10.1.9)) 10.1.24
	経済学部	教授	八木 保夫	連合王国	イギリス行政法の研究	10.1.15)) 10.3.13

職 員 消 息

〈住所変更〉

部 局 名	官 職	氏 名
学 生 部	文部事務官 (学生課総務係)	竹 島 勢都子
人 文 学 部	教 授 (英米言語文化)	鈴 木 孝 志
人文学部・理学部	文部事務官 (学務第二係)	山 田 豊
経 済 学 部	講 師 (理論経済学)	大 坂 洋
〃	文部事務官 (庶務係)	山 田 裕 子

主 要 行 事

本 部

- 1月5日 学長年頭の挨拶
 17日～18日 平成10年度大学入試センター試験
 21日 就職に関する講演会
 26日～2月4日
 平成10年度入学者選抜個別学力検査入学願書
 受付
 27日 第7回国際交流委員会留学生部会
 28日 就職に関する講演会
 30日 第4回五福地区構内交通規制に関する実施要
 項見直し小委員会
 第2回東海・北陸地区国立学校施設担当部課
 長会議（名古屋工事事務所）

人 文 学 部

- 1月7日 教授会
 教授会（人事）
 人文科学研究科委員会
 9日 学部公開講座委員会
 14日 学部国際交流委員会
 学部将来計画委員会

予算委員会

- 21日 平成10年度入学者推薦入学試験
 学部自己点検評価委員会
 23日 独立大学院（人文・経済合同）委員会
 26日 学部教務委員会
 27日 学部入学者選抜方法検討委員会
 28日 教授会
 教授会（人事）
 人文科学研究科委員会
 特別昇給委員会

教 育 学 部

- 1月8日 附属小学校、附属中学校及び附属養護学校第
 3学期始業式
 9日 附属幼稚園第3学期始業式
 12日 学部教務委員会
 学部紀要編集委員会
 14日 学部改組ワーキンググループ会議
 教授会
 人事教授会
 16日～22日 附属小学校及び附属中学校入学願書受付
 20日 附属教育実践研究指導センター運営委員会

21日 教職科目専門委員会
学部入学試験委員会
28日 学部将来計画委員会
人事教授会
学部自己点検評価委員会
平成10年度附属小学校入学者発育検査

博士後期課程委員会
16日 機種選定委員会（微細パターン形成装置）
20日 職場体験学習（富山市立北部中学校来学）
22日 機種選定委員会（微細パターン形成装置）
23日 電子広報委員会
28日 専任教授会
研究科委員会
博士後期課程委員会

経 済 学 部

1月20日 学部教務委員会
21日 人事教授会
教授会
28日 学部学生生活委員会
学部就職指導委員会
学部教務委員会

生涯学習教育研究センター

1月11日 平成9年度東海・北陸地区大学放送公開講座
ラジオ講座スクーリング
13日 第2回生涯学習教育研究センター公開講座専門委員会
23日～25日 富山大学公開講座「親子スキー教室」（牛岳温泉スキー場）

理 学 部

1月8日 学部入試改善委員会
12日 学科長会議
予算委員会
13日 学部就職指導委員会
14日 理学研究科委員会
教授会
人事教授会
21日 予算委員会
28日 学部教務委員会
29日 学科長会議

工 学 部

1月7日 機種選定委員会（微細パターン形成装置）
9日 博士後期課程主任会議
機種選定委員会（材料基礎物性評価システム）
電子広報委員会
大学入試センター試験監督者説明会
12日 センター試験説明会
学部運営委員会
学部教務委員会
13日 学部学生生活委員会
機種選定委員会（材料基礎物性評価システム）
14日 教授会
専任教授会
研究科委員会

編 集 富山大学庶務部庶務課
富山市五福3190
印刷所 あげぼの企画株式会社
富山市住吉町1丁目5-18
電 話 (24) 1755(代)